

キャラクター名

西城 陽那 サイゾウ ヒナ

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
	キュマイラ					
オブショナル			年齢	17	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	破壊		初期侵食率	33%
出自	姉妹	経験	喪失		邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ARW24X Harvest	白兵	5r+1	1	13		攻撃対象がオーヴァードならDR+1D/使用後HP-2/スリパー相当
石楠花	白兵	11r+1		13		1+2/侵食率+4/攻撃対象がオーヴァードならDR+1D/使用後HP-4(2+2)
蓮華躑躅	白兵	11r+1		19		1+2+4/侵食率+6/攻撃対象がオーヴァードならDR+1D/使用後HP-10(8+2)
夾竹桃	白兵	12r+1		38		1+2+3+4/侵食率+11/攻撃対象がオーヴァードならDR+1D/使用後HP-18(16+2)/over100%

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
トラックスーツ		1			白兵判定+1D(適用済み)

所持品		合計装甲：	1	合計回避：	0
ウェポンケース		ロイス			
コネ：UGN幹部		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
思い出の一品		想い人	P	N	
携帯電話		黒羽 曉美	P 憧憬	N 疎外感	
カジュアル		食人のオーヴァード	P 執着	N 憎悪	
		DD	P 信頼	N 隔意	
		鷹山 レン (昇華)	P 感服	N 不信感	
		近藤 由香里	P 誠意	N 不安	
		木場	P 感服	N 憐憫	
		最大財産P:	6	残り財産P:	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
血色の花嫁	1	3	セット	至近	単体	自動		
効果：ブラムのエフェクトによるHP消費コストを対象が支払う								
コンセ	2	2	メジャー					
効果：C値-[Lv](下限値7)								
鮮血の一撃	4	2	メジャー	武器		対決		
効果：判定+[Lv+1]D/HP2点消費								
ブラッドバーン	3	4	メジャー			対決	80%	
効果：攻+[Lv×4]/HP5点消費								
鮮血の槍	2	1	オート	至近	自身	自動		
効果：攻+3/HP3点消費/1回のDRIに[Lv]回								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果：カバリング								
鋭敏感覚	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ちみっこい女の子がデカイ鎌振り回すのって性癖にクるものがあるよねって話。

8月生まれの高校二年生。理系で得意科目は物理だけど好きな科目は政経。
趣味は水泳と音楽鑑賞。
黒羽 曉美とは小学校以前からの幼馴染みであり、比較的慎重で考え込む傾向が強い西城にとって彼女は常に新しい世界を見せてくれる大切な存在である。しかし、その感情の本当の意味を自覚していない。

低い身長ながら訓練やキュマイラシンドロームの影響から比較的筋肉質な体つきをしている。
元々は一般人であり、3年前に親友の黒羽 曉美がFHエージェント《食人鬼》によって捕食されている現場を目撃した際に覚醒した。
《食人鬼》を半ば暴走しながら撃退し、意識を失う。その戦闘時に放たれたワーディングを検知したUGN職員によって保護されている。

職員から説明を受けた後にUGNエージェントとして活動することを選択。検査の結果身体機能に問題がなかったためにこれまでの生活を送りながら訓練と教育を受け、地元から離れUGN系の高校へ進学すると同時に本格的な活動を開始した。

「今でもあの日のことは鮮明に思い出せる。やけに静かで、もしかしたら留守なのかと思った。でも違った。鍵は開いていたし中から何か物音もした。嫌な匂いがして、嫌な予感がして、それでも進んだら昨日まで普通だったリビングが血塗れになってた」「そこに居たそいつが何を食べているのか最初は理解できなかった。すぐそばに胴体だけの曉美が居て、少し遅れて理解できた。……そこから先のことはあまり覚えてない。頭の中が真っ白になって、無我夢中だった」「その後気付いたら病院だった。説明を受けて、最初は戸惑ったけどそれ以上にあいつが許せなかった。絶対に殺すと決めた。だからエージェントになった」「曉美のそばから離れたくなかったから、親を説得して付いていった。危険な任務があることも承知の上で、それでも曉美を守るために……あいつを殺すために今こうして活動してる」